

恒久平和への誓いを新たに
殉公者追悼式が執り行われました

戦没者を慰霊し、恒久平和への誓いを新たに
する「殉公者追悼式」が、6月15日、津別
町平和の碑広場で執り行われました。
参列者による黙祷、国歌斉唱に続いて、式
典委員長佐藤多一町長が式辞を述べ、「平和
を希求する思いは世界共通ですが、今もテロ
や紛争が続いています。日本は先の大戦から
学んだ経験を生かし、世界平和のために積極
的な役割を果たさなければなりません」と、紛
争解決を訴えました。
来賓の方たちによる慰霊の辞の後、参列者
全員が平和の碑前で献花を行い、鎮魂の祈り
を捧げました。



▶平和の碑の前で献花する追悼式参加者

北海道共同募金会助成事業
社会福祉協議会に車両寄贈

赤い羽根・北海道共同募金会助成事業に
よる津別町社会福祉協議会への車両寄贈
があり、6月14日、同協議会前で贈呈式が
行われました。
津別町共同募金委員会・大東勲会長から
ニッサンセレナ（8人乗りステーションワ
ゴン）のレプリカキーを手渡された社会福
祉協議会・
原田英機会
長は、「この
ような立派
な車をいた
だき、あり
がとうござ
います。移
送サービス
などに活用
したいと思います」と
お礼の言葉
を述べまし
た。



▶社会福祉協議会・原田会長（左）と
津別町共同募金委員会・大東会長

第12回クリンソウまつり開催
様々なイベントが行われました

12回目を迎える初夏の恒例イベント『クリ
ンソウまつり』が、6月17日・18日、上里町
民の森自然公園（愛称・ノンノの森）及びラ
ンプの宿・森つべつを会場に開催されました。
好天の下、ゲストミュージシャンや町内の
芸能・音楽愛好団体などが日替わりで演奏す
る森の音楽会、森林セラピー、各種体験、ツ
リーイングなど様々な催しが二日間にわたっ
て行われ、町内外から訪れた多くの人で賑わ
いました。
クリンソウの可憐な花が見ごろを迎えた散
策路では、家族連れや観光客が思い思いに森
林浴を楽しんでいました。



▲森の音楽会「ホラネ口」の演奏



▲クリンソウが咲く散策路



▲郷土芸能・山鳴太鼓保存会の演奏



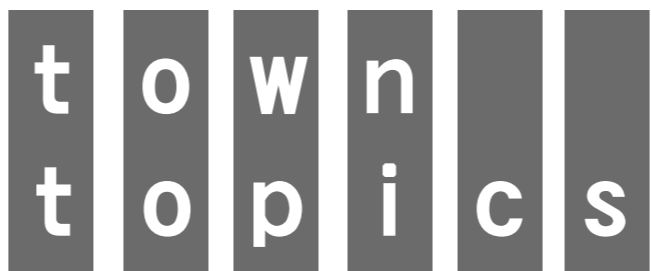
▲ノンノの森DE遊ぼう～各種体験

ミスナラ倶楽部に参加の畑山さんが99歳に
町長や倶楽部の仲間が白寿のお祝い

包括支援センターの通所型介護予防事業
『ミスナラ倶楽部』に参加している畑山ツル
子さんが99歳の誕生日を迎え、5月30日、
仲間やスタッフが白寿を祝う会を開きまし
た。



週に一度、津別小学校の教室で行われて
いる同倶楽部では、手工芸やゲーム、軽い
体操などに
より、運動
機能向上と
介護予防を
支援してい
ます。
お祝いの
席には佐藤
町長も駆け
つけ、参加
者からの心
のこもった
寄せ書きを
贈呈しまし
た。



まちのわだい

水中エアロビ教室参加者大募集！

日程 7月7日～8月4日
毎週金曜日（全5回）
時間 19：30～20：30
場所 温水プールすいむ
参加料 無料（各自保険加入）
対象者 町内の成人
定員 30名
申し込み・問い合わせ先
中央公民館内
生涯学習課
☎76-2713



デジタルサイネージを設置しました！

皆さん館、津別病院、あい
おい道の駅にデジタルサイネー
ジを設置しました。

町民や観光客向けに、暮らし
の情報や企業情報、観光情報な
ど、さまざまな津別町の情報を
発信していきます。

問い合わせ先

住民企画課企画グループ
☎76-2151
（内線215）



※デジタルサイネージ
ディスプレイなどの
電子的な表示機器を
使って、情報を発信す
るシステム。

地域おこし協力隊の
44 映像DE情報発信
のススメ

地域おこし協力隊員が
津別町に来て学んだこと
感じたことを
つづります。



立川 彰
静岡県出身。東京でテレビ番組
のADを経験後、千葉県船橋市で
映像制作会社を起業。二児の父。

◆ 今の情報社会は、人類
が西暦2000年まで数
万年かけて蓄積した情報
量を、1日で生み出すと
言われる。インターネット
の利用で世界はつなが
り、誰でも情報発信がで
きるようになった。この
時代に映像を使い、情報
を発信するという取り組
みを行っている。

昨年6月1日に協力隊
の辞令を受けてから一年。
「道東テレビ」というイン
ターネットを利用した映
像メディアを立ち上げ、
約140本の動画を公開。
再生回数は述べ35万回を
超えた。町民生役の生放
送、町おこし応援番組「つ
べらな話」も毎月一回、
基本的に第一日曜日19時
30分から配信し、いつも

賑やかに放送している。
町の広報番組「タウン
ニュースつべつ」の制作も
開始し、町内のデジタル
サイネージ（映像看板）で
配信も行っている。今後
は内容をさらに充実させ、
見てくれる人を増やした
い。さらに月に一度、さ
んさん館で映像制作教室
も始めた。半年かけて映
像作品を一人一作品作る
（ちなみに一回目の課題は
大切な人のインタビュー
を撮影する事）。

二年目からは、このモ
デルを近隣市町村にも広
め、面での取り組みにし
ていく予定だ。情報が溢
れる世界だからこそ、意
味のある映像をこれから
も制作していきたい。応
援してくれる皆様、家族
に感謝したい。